



門別図書館郷土資料館開館20周年記念事業 ココロの色をペイントしよう

8月4日、門別図書館郷土資料館中庭チャチャニレの広場にて、千代明さんによるワークショップが開催され、約50人が参加して千代さんと共に色鮮やかなアート作品を制作しました。

千代さんが「共生」をテーマに制作した、直径25センチから150センチの鉄製の輪230個を組み合わせた立体作品に、参加者が思い思いに、はげで色をつけ、2時間ほどで完成しました。

作品は、来年1月30日まで展示しています。



日高、門別両地区で戦没者追悼式 戦没者の冥福を祈り黙禱

8月2日と23日の両日、平成25年度日高町戦没者追悼式が、日高地区、門別地区の両会場で開催されました。

23日に開催した門別地区では、遺族と来賓の方々を含め約40人が参列し、戦没者の冥福を祈り黙禱を捧げ、献花を行いました。

門別地区遺族会の市原会長は、「悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たに、戦争の史実と教訓を風化させることなく子々孫々にわたり正しく継承し、平和で希望に満ちた社会の増進に一層努力を重ねます」と挨拶しました。



「暴力団排除措置及び支援に関する合意書」 門別警察署と日高町が合意書に調印

8月7日、門別警察署と「暴力団排除措置及び支援に関する合意書」への調印式が日高町役場で行われ、三輪町長と林克徳門別警察署長が合意書にそれぞれ調印しました。

これにより町と警察が連携し、暴力団の入り込めない安心で安全なまちづくりを目指していくことを確認されました。

日高町では、暴力団の排除を推進し、町民の安全で平穏な生活を確保するとともに社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とした「日高町暴力団の排除の推進に関する条例」が平成25年9月1日から施行されています。



ナイター野球「ドルフィンズ杯」 富川コンボイが優勝！

8月5日から町営富川球場で、町内の8チームが参加して「ドルフィンズ杯」が行われました。

ドルフィンズと富川コンボイとの決勝戦は、5回表まで均衡した試合展開でしたが、富川コンボイ柏木選手の右中間を破る3点タイムリーが決勝点となり富川コンボイが約2年ぶりとなる優勝を手に入れました。

優勝 富川コンボイ
準優勝 ドルフィンズ
3位 オールドスターズ



日高町商工会女性部様より寄贈 リングプルを集めて車椅子

8月22日、日高町商工会女性部(今井絹恵部長)様より車椅子1台を寄贈いただきました。

同女性部は、北海道商工会女性部連合会が行うリングプル回収事業に参加し、集めたリングプルと交換された車椅子を町立介護老人保健施設門別愛生苑に寄贈されました。

今井部長より車椅子を受け取り、町長は「大切に末永く使わせていただきます」とお礼を述べました。



ひだか特産市などたくさんのイベント開催 門別競馬場で「夏のケイバまつり」

8月13日から3日間、門別競馬場では「夏のケイバまつり」が開催されました。

日高管内の特産品の販売やちびっこ縁日、ポニー体験乗馬、ヤマメ釣りやお笑いライブなど、たくさんのイベントが開催され、天気にも恵まれた3日間で、大勢の来場者でにぎわいました。

ひだか特産市では、日高三大和牛串や前浜産のつづ串、たこ串の販売に長い行列が出来ていました。



富川自治区連合会主催「防災講演会」 巨大津波への備え～地層から学ぶ～

8月25日、地層研究で著名な平川一臣北海道大学名誉教授による富川自治区連合会主催の「防災講演会」が富川公会堂で開かれ、約110名の方々が講演会に参加しました。

この日は講演会に先立ち、連合会役員や町内会長などが、富浜のシノダイ岬付近において、津波や噴火活動の堆積物を表す地層の説明を受けました。

講演会では、今年1月に配布された新たな津波ハザードマップに、自分の家の位置を正確に記入し、避難場所、避難ルート、要援護者の把握など町内会、学校、各家庭などの実情に応じた「避難カルテ」を持つとアドバイスしていました。

また、最後の大津波から千年近く経っている東北北部沖を震源とする大地震が発生すれば、日高沿岸が大津波に襲われる危険性があると警鐘を鳴らし、また災害を怖がるのではなく、正しく恐れようと述べられていました。